

平成17年6月30日

2号機高圧注水系における微少な蒸気漏れについて

2号機は、平成17年6月28日より原子炉起動中ですが、6月30日午前6時24分から高圧注水系ポンプ*の確認試験を実施していたところ、ポンプ駆動用タービンに蒸気を供給する配管にある蒸気止め弁と蒸気加減弁の接続部付近から微少な蒸気漏えいの可能性があることを当社社員が確認いたしました。そのため、午前6時45分頃、当該ポンプを停止いたしました。

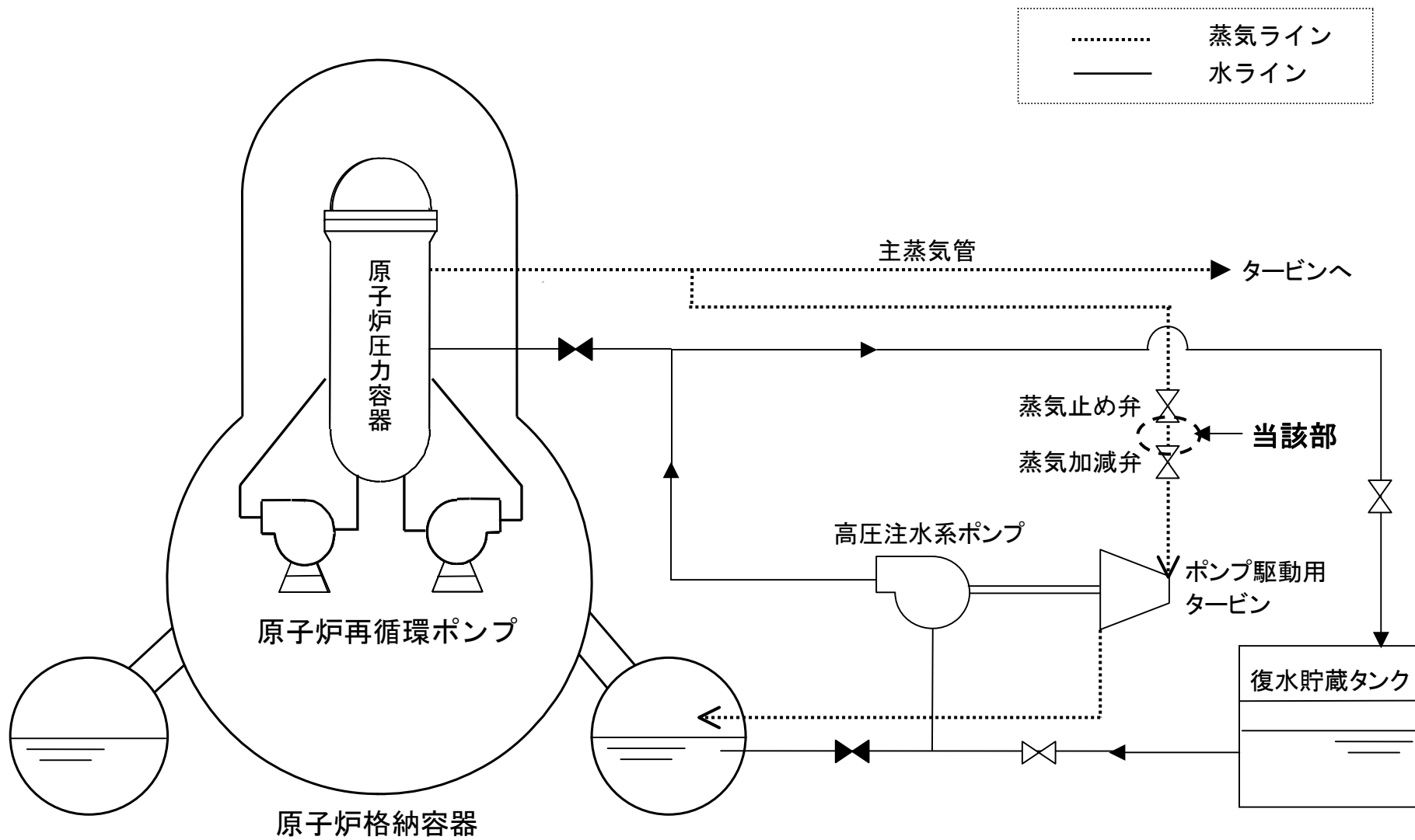
その後、漏えいの有無の調査を行い、当該接続部からの漏えいを確認したため、当該接続部の増し締めを行い、再度確認試験を実施しました。その結果、当該ポンプの機能に問題はないものの状況に変化がないことから、今後、当該接続部の部品（パッキン）を取り替え、健全性の確認を行います。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 高圧注水系ポンプ

非常用炉心冷却系の一つで配管等の破断が比較的小さく、原子炉圧力が急激には下がらないような事故時、蒸気タービン駆動の高圧ポンプで原子炉に冷却水を注入することのできる系統。



2号機高圧注水系蒸気漏えい概略図